

はやぶさ・令和2年＝2020年 年始臨時号……2020年01月10日(金)

###free1###

###name### 様

=====
はやぶさ・令和2年＝2020年 年始臨時号……2020年01月10日(金)

Captain 平本 靖夫

=====
新年明けましておめでとうございます。

今年は、オリンピック・パラリンピックがあり、オリンピックイヤーとして本来なら希望に満ちた年明けになるはずが、不安を増幅する出来事が年頭から続いております。

混沌(カオス)の予感がいたしますが、たとえどんな困難が来てもたくましく乗切らねばなりません。私の私見での考察をご披露して、中小企業がこの混沌を乗りきるための考働指針を述べたいと思います。それは理念経営の視座からの指針で従来の指針と180度違うかもしれません。

「理念経営 X SDGs」の立場での見解で意見を述べていますので、ご理解いただければ幸いです。

① 経営環境・マクロ……世界の事象が日常生活に及ぶストレス社会の到来……

① ゴーンのレバノン逃亡事件

- ・昨年末におきた、この事件は日本の自治を大きく揺るがすとともに、欧米との法体系の違いも浮き彫りにしてます。民放のTVの解説を聞くと組織的でスパイ映画もどきです。ポイントは日本の主権の問題で法事国家の根幹が侵されてるのと感じる点です。カネのためなら超法規で考働するのだとの価値観はNOである。明治維新の不平等条約を思いだしている………看過できない……

② イラン革命防衛隊 ソレイマニ司令官のアメリカによる殺害

- ・こちらの殺害方法もITを屈指した、映画もどきです。戦争の火種となる恐れがあるが、お互い心底からは望んでないが、「はずみ」でなるかもしれないリスクを抱えている。中東の問題は、イスラエルの聖書の予言によりもたらせており、大きなギャップはそう簡単には埋まらない。2000年もかかっているのだ。・石油・ガスも問題。円高等で日本への影響も小さくはないだろう……オイルショックはあるか？

③ EUからの脱退…イギリス

- ・総選挙の結果離脱は確実にあったが、その後の対策・課題は山積みである。ヨーロッパへ向かうのか？世界を導くだけの力は最早ないようだ。

しかし、日本への影響は小さくはないだろう。ヨーロッパは、規範や目標となることはないだろう。テクノロジーも遅れをとっている……進化についていけないのを観じる。役目は終わった。

④ 米中の貿易摩擦と自国主義の蔓延

•この問題は、経済の視点と今後の覇権争いの現象である。

民主主義と言われる体制と共産党一党独裁体制との戦いでもある。

工業における人件費の安さから、かつては日本が繁栄した。今は中国であるがベトナム等東南アジアへ。そしてイスラム圏であるインドネシアへ。やがてインド・アフリカも同じ論理で近代化の名のもとに拡散するに違いない。

•アメリカもイギリスも中国も自国主義を強めるであろう。貿易は縮小していくことになるが、自然環境の視点で見ると「地産地消」になって、物流エネルギーが削減されるかも……

•この問題がどのように展開していくのか…10年後20年後30年後100年後 300 年後は…

この構図のままではいけないであろう。「平和・自然環境・愛念」の理念からしてそう信じるし、理念が実現してほしいと念じる……

⑤ 香港問題と台湾選挙の行方

•両方とも中国が絡んでいる。この問題の処置によって、中国の国際社会における評価も人民の意識も変わっていくだろう。今は勉強し経験知を学ぶ時なのだろう。

あるいは人類の宿題なのかもしれない……関心をもって見守るとともに日本も考えなくては
いけない課題である。民意をいかに政治に織込むべきか？50年・100年・300年後考
えて……………

⑥ 地球温暖化と水資源問題

•温暖化の問題は皆さんもよくご存じですが、石炭を燃やさない。石油からの脱却。グリーンエネルギーへのシフトは思ったほどには進まない。テクノロジーは有用なレベルで存在してるのに……地球環境は2030年には危機的状況を迎えるとSDGsは予測している。そのために取り組むべきことを17 アイテム挙げている。

•はやぶさ・#327～#331号 http://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php 参照

•アフリカのグリーン革命により、現地人は畑と水を失い、貧困になり難民化して内戦・テロが起きている。アマゾンでも緑の破壊は起きているのである。

アメリカの農産物は大量の水を肉やトウモロコシも野菜にして輸出している。ワインの輸入も同じことである。多くの湖・川が枯渇し始めている。オーストラリアも同様な事象が起きている。

今後はエネルギー問題よりは、人間が生きていくのには、空気とともに「水」が絶対条件であるので、21世紀最大の課題になってきている。

•こうした観察を続けていると、テクノロジーはあるのに、既得権益(それで食べている人達)

利権をもっている人達・業界等)が抵抗勢力であること強く感じるこの頃である
そこを社会的にどうするかが課題と感じる・共生の方法を・つまり、理念経営の実戦なのである…

②経営環境・ミクロ

① オリンピック・パラリンピック後の景況

・エコノミストはそれぞれの立場で見解を述べているが、鵜呑みにしてはいけません。
「当たるも八卦・当たらずとも八卦」で責任を持った意見でなく、見解ですので…
私は、パートナーとして結果責任を共有する立場での見解を述べてるつもりです。
ミクロは経営者が一番感じているはずである。景気は循環する。のであり、消費を伸ばす
ことは生活者の清豊に直結してるのか？と問う必要性があります。
物的な富ではなく、心からの安心・安全を獲得しなければ存在する(生きている意義がない)…
それが清豊です。 ・備えましょう…どうしてよいか分からない時は、相談ください。

お問い合わせ: <http://rinenkeieishi.net/contact/form.php>

② デフレと格差社会の進行

・この課題は経済学と社会の在り方が問われています。富の偏在と差別観と自分らしく生
きる機会がないことに対する憤りが社会を退化させているのです。教育が知力偏重で人間
らしく心を鍛えて「世のため・人のため」になることを教育しないのです。
つまり、人財を育てていないのです。江戸時代の米百俵や藩校の存在を見れば明らかです。
今でも、その精神・理念は続いているのであり、人財を輩出しているのですから…
・後、10年の課題であり、300年後の課題でもあると認識してます。

③ 総選挙の思惑がでているが…野党とのパワーバランス？IR問題・桜を見る会・野党の再編成

・政治家や官僚(地方公務員・警察・消防・自衛隊等…)も含めて税金を原資として給与をもらって
る人は、公務員であり公僕であります。納税者に対するサービスを徹底的にすべきです。費用
対効果を測定すべきです。街おこし・行革の経験からして、ほとんどの人は食うためにやって
るのであって、特権階級意識に固まっています。そうでない人もいますが希少です。
生命をかけて、任務を遂行してる、災害時の自衛隊・消防隊・警察の一部機能・海上保安等の
人々に敬愛を感じています。

安倍首相は本当に経国済民を志向してるのでしょうか？

自分の保全と憲法改正のためだけの延命策ではないでしょうか？私達が賢くならねば…

・しかし、ここに民意のレベルがありますね。自分で考えることを放棄して「上さま」意識「長いも
のには巻かれる」に従属しているのです。私達にも自己責任があると観じます。
香港は違いますね。…どうなるか予断ができませんが…
かつての226事件・安保闘争のようにインパクトを社会に与えて軌道の中道に戻せなくなっ
ているのです。……あるいは、その行動が出来ないのは、その反作用かもしれませんが、諦めて
はだめですので、日々の精進を根気よく持続しましょう。

肉体的に生き、今が満たされていればいいのではないのです。飼われていることに気が付てください。自分らしく生きるそれを追及しましょう
人間はそのように創られているのでありそれが存在理念なのです。

③ 理念経営の視座から見た指針

① 環境に適応できず、「世のため・人のため」にならねば淘汰される必然にあるのです。

・環境に適応できないものは持続できないのです。ダービンの進化論は全面的には信じてませんが、環境に適応した種だけが子孫を残せるのです。企業体はもちろん社会体も国体もその天の摂理からは逃れることはできません。2000年以上続いた理念はヤマト(日本)しかありません。そのことが理念経営実現の原点回帰なのです。

・変わる勇気を持って、変態脱皮をすることです。後程再論しますが……

② 大成の条件・経営者の器の原点回帰

・大成の条件は①素直②自己責任③謙虚 です

・経営者の器は①先見性②予知能力③愛念④決断力です。

特に、予知能力は鍛錬しましょう。場面を読み次の一手を考えることです。

詳しくは、理念経営について、はやぶさ・バックナンバー#316～#320

http://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php を参照ください。

③ 欧米中心の価値観・世界観から、アジア・日本の価値観へのシフト＝神に対する考え方の違い

* 唯一神教(欧米・中東)と、自然崇拜・祖霊に対する感謝(ヤマト)とは全く違う。

・日本においても、明治維新以来、欧米の技術と社会制度を規範として「追いつけ追い越せ」で、やってきました。しかし、前述したようにその文化=重商主義から資本主義へのトレンドは地球環境の制約条件によりもはや限界に達しているのです。

・インターネットや携帯電話はインフラが後進国でも簡単にできますので、全世界に広がっています。むしろ先進国の方が遅れを取っている状況です。テクノロジーが社会を変えていく良い前例です。その典型が中国です。膨大な人口を武器にして最先端を走っています。

アメリカに対抗できるただ一つの国です。しかし、中国が全世界を清豊にするかは、私は疑問をもっています。何故ならば、GD の四つのテーゼになじまないからです。天が望んでいる世開とは、異なるからです。理念経営のすすめ方を参照ください。

・日本は今後の世開のあるべき姿に、重要な役割を果たすことが定められています。欧米の価値、慣習に気を使うことはないので、GD の4つのテーゼを念頭に考働すべきなのです。

◆では、どうするか?……理念経営を実戦するのみです-.....

④ HpsBiz の中期経営方針と考働計画

*長くなりましたので、委細の説明は、はやぶさ・で3月ごろに紹介いたします。

- ①チームで戦うネットワーク…HpsBiz・World ……理念経営に共感される経営者・経営支援家(税理士・診断士・FP・IT系・知財系)……会員制(審査制度があります)
- ②中小企業投資育成機構……金融支援=連帯保証・直接投資……会員サービス
- ③理念経営士養成専修学校……理念経営を体得した、経営支援家と経営者の育成
- ④NPO 理念経営推進プロジェクト(PJT)……地域おこし・防災対応・コミュニティ・ビジネス・育英制度等、地域自治の確立と持続可能な組織体づくりとその運用支援とその支援。

⑤具体的な施策の指針

- ① 古い価値観や役に立たない成功体験は捨てる…絶対条件
 - ・ここが経営者にとって一番難しい決断です。なりふりかまわず、持続のために無用のものを、捨てられるか?鎧を着て溺れる人の何と多い事か……
- ② 人時生産性を向上させる施策を先行投資で取り組む
 - *人時生産性(にんじせいさんせい) = 一人当たりの営業利益額
 - ・今の閉塞観から脱出には、投資をして生産性を上げないと、可処分所得(使えるキャッシュ) 経国済民は出来ませんので、私たち HosBiz の経営支援はこの点を大事にしています。詳しくは後程解説します。
- ③ お山の大将感覚からチームワーク・ネットワーク思考へ進化
 - ・中小企業は、一社では経営資源(人・モノ・金・“しくみ”・情報)が足りません。経営資源を強化する方法を考えましょう。
 - そこで同志の方とコラボする必要があるのです。基幹業務以外やインフラはシェアリングしてローコスト経営をして、経営者は「**商材開発・市場開発**」に専念して売上を上げましょう。
 - それが、HosBiz の会員制度の“しくみ”であります。

* 大分長くなり読んでいただいた事に、感謝申し上げます。

念頭に当たり、方針とともに決意を述べました。セミナーやイベントや本で具体的なお話をいたしますので、引き続きご愛読の程よろしく申し上げます。 ありがとうございます。

* * 皆様にとりまして、自己実現と健康の歳でありますように陰ながら祈念申し上げます。

*****次回のお知らせ**20・01・17(金)発信*****

次回から、お笑い芸人で、どん底を経験している「ヤセ騎士(ヤセナイト)」氏の経験に基づく「人を笑顔するトーク術とお客様に共感を得るコツ=売上倍増の秘訣」をご愛読ください。

*****第6回ビジネスモデル発表交流大会のご報告*****
バックナンバーは、https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_382.pdfを

ご覧ください

**お問い合わせ・質問は メールアドレス： hos_biz@hosbiz.net

発行責任者：平本 靖夫、 編集長：石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://1lejend.com/stepmail/dela.php?no=xxewhs&a_mail=###mail###